



いわき市立遠野中学校 学校だより

遠野通信 ⑦



発行責任者：校長 佐川 綾子 令和6年(2024年) 11月25日(月) 発行

82分の20 ～ 2学期も残りわずか ～

11月中旬までの春のような暖かさから一転、気温がグッと下がり、特に朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。白い息を吐きながら寒そうに登校する生徒の姿を見ていると、本格的な冬の訪れを実感します。

さて、早いもので2学期の登校日数は残すところ20日。2学期は1年の中で最も長い学期ですが、残りは4分の1となりました。大きな学校行事が一段落し、淡々とした日常の中で、日々の生活や授業の積み重ねを大切にしていかななくてはならない時期です。

この時期、生徒のみなさんには学校生活を過ごす上で意識してもらいたいことがあります。それは「自身をさらに成長させるために、自分自身を深く見つめ直す」ということです。自分の生活、学習をはじめ、人との関わり方や係活動への取り組み方はどうだったのか、しっかり振り返ることは、3学期の自分の成長に、さらには学校生活での学びを社会に出たときの力に変えられるようにするためにも非常に大切です。

特に3年生は、進路実現に向けた最終段階に入ります。高校入試の面接等では、「あなたにとって学ぶことにはどのような意味がありますか」、「あなたはどのように考えますか」、「あなたならどう行動しますか」、「将来、どんな職業に就きたいですか」というように、「あなたはどのように考える?」、「あなたはどのようにしたい?」という、正解が1つではない問いに対して、自分の考えが相手に正しく伝わるように表現する力が求められます。こうした力は一朝一夕に身に付くものではありません。

10年、20年後の社会がどのようなになっているのか予測や想像することが難しく、不透明な時代と言われています。生徒のみなさんは、こうした時代を乗り越えて人生を切り拓いていかななくてはなりません。そのためには、正しい知識や情報を基にして、主体的に考え、判断(選択)し、表現(行動)する力が必要になります。規律を守り、真面目に誰かの指示にきちんと従う素直さだけがあれば良い、というわけではないのです。

自分自身をしっかり見つめ、自分を正しく知ることを「リフレクション」といい、主体性を高め、自分を成長させる第一歩とされています。ぜひ、2学期の、そして2024年の締めくくりを大切にしてほしいと思います。

教える授業から自ら学ぶ授業へ ～先生たちも日々勉強中～



相互授業参観や市教委による学校訪問の様子

近年、授業観の転換が求められています。それは「(教師が)教える授業」から「(生徒が)自ら学ぶ授業」への意識改革を意味します。教師は「教える」ことを放棄しているわけではありません。基礎的知識や技能を、生徒が追究する過程でしっかりと身につけさせること、そして生徒が自らそれらをつなぎつけて課題解決のために駆動させること、これが「自ら学ぶ授業」の姿です。学びの結果だけでなくプロセスが重視されます。学校では、自ら学び考え、社会の変化に対応できる「生きる力」を育むため、お互いの授業を参観し合ったり、諸調査の結果を分析したりしながら、授業改善に努めています。

学校は「学び舎」です。教科の「知識」だけでなく、「考える力」「判断する力」「表現する力」等が学校で行なわれるすべての教育活動を通して身に付くよう、日常から、学校生活の中で生徒が主体的に学び、考え、表現し、振り返る時間を大切に、その成長を支えていきたいと考えています。

避難訓練・防災教室 ～もしもの時に慌てないように～

11月7日(木)3・4校時に、遠野分遣所の職員の方をお迎えし、家庭科室で火災が発生したことを想定した避難訓練及び防災教室を行いました。

防災教室では、濃煙避難や消火器を用いての消火を体験したり、トラッキング現象や油火災を再現した実験を間近で見たり、校内の防災設備や機器について教えていただいたりしました。



濃煙避難 実際の火災現場では、煙が充満して視界が悪く、パニックになることも…。訓練では、煙体験ハウス内に発生させた訓練用の煙で、煙の怖さ・避難の方法を体験しました。

火災実験 訓練では、実験装置を使用してトラッキング現象や油火災を再現し、実際にコンセントから火花が出る様子や天ぷら油が徐々に熱せられ発火するまでのプロセスを見ることができました。

① トラッキング現象

家電製品などの電源プラグをコンセントやテーブルタップに差し込んでいると、コンセントと電源プラグとのすき間にほこりが溜まり、このほこりが湿気を帯びることで小さなスパークを繰り返し、火災につながることもあるそうです。これをトラッキング現象と言います。

② 油火災

調理中に電話がかかってきたり、来客の対応をするために台所を離れたりと、ほんのちょっとした油断が原因で発生している油火災が非常に多いそうです。



消火訓練 火災が発生したとき、炎が大きくなる前の消火作業(初期消火)がとても大切です。訓練用の水消火器を使って、消火訓練を行いました。消火の時は火の根元(下側)を狙い、ホウキではくように 徐々に近づいていきます。



生徒は、どの訓練にも真剣に取り組んでいました。「訓練は本番のように、本番は訓練のように」という言葉があります。今回の訓練を生かし、いざという時にも慌てず、適切な避難行動を取ってほしいと思います。

三者教育相談 ～ご協力ありがとうございました～

先週の三者教育相談では、御多用の中、保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。短い時間ではありましたが、学校と家庭が連携する上で、大変貴重な時間となりました。今回お子さんの学校での学習・生活の様子や家庭での様子について共有させていただいたことを、今後のよりよい成長につなげていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

尚、来月には、今年度2回目となる「後期学校評価アンケート」にご協力いただく予定です。学校での様子が捉えきれず答えにくい項目につきましては、前期同様、未回答で送信いただいて構いませんが、授業参観や学校の行事などで来校されたときに感じられたことや、学校からの連絡や各種便り、お子さまから聞いていることなどをもとに、できる限りご回答いただければと思います。



【教育目標】

- 自ら学び考え、知性豊かな生徒
- 心豊かで思いやりがあり、品位ある生徒
- 心身共に健康で、たくましい生徒

〒972-0161

いわき市遠野町上遠野字根小屋 30

TEL 0246-89-2513 FAX 0246-89-2709

e-mail tono-jh@city.iwaki.lg.jp